

# KiKiの広場

2020年 4月 1日  
cafe NO.114  
KiKi



なかなか決まらなかった4月からの指定管理者が、3月25日、正式に「タグボート」に指定され、令和7年の3月31日までの運営継続が決定しました。ようやく新年度を迎えることができましたが、世の中は落ち着きを取り戻すことができず、「ヒストリア宇部」も7日まで休館が延びました。真締川公園の桜など身近な春の訪れと共に、少しでも和らいでくれることを祈るばかりです。

2010年の9月にオープンしたので今年はちょうど10年目、「ヒストリア宇部」にとって大きな節目の年となります。「絵本カフェ KiKi」も同様です。オープン時には、「魔女の宅急便」の原作者の角野栄子さんにも来ていただきました。今年1年をどう過ごすか、どんな1年にしたいか、こんな時だからこそ私たちスタッフが、心を尽くして1日1日を大切にしていきたいと思います。令和2年度も、どうぞよろしく願いいたします。

## 4月の予定

休館日	14日(火)
定休日	毎土・日曜日
13時まで営業	13日(月) 27日(月)



## 「今月のケーキ」・・・「桜モンブラン」 350円

宇治抹茶スポンジの上に、桜の葉入りホイップクリームを乗せ、ホワイトチョコレートと白あんを合わせた桜色クリームで包んでいます。トップには塩漬桜花が飾られ、この季節ならではの可愛いケーキです。

## 今月のお気に入り・・・「待ってた、待ってた、春が来た!」の絵本

～「ハートのはっぱ かたばみ」「春の主演 桜」「はるかぜのホネホネさん」「はじめまして」「ながいながいよる」 などなど～



「ハートのはっぱ かたばみ」は、私たちにとって一番身近な草かもしれません。雑草と考えるなら少々やっかいもので、草の形も花もかわいいのでついほっておくと、花壇の主演の花をしのぐほど成長することもあります。そんなかたばみの様子を丁寧に詳しく描かれたこの本を見ると、ますます抜かすおこがなと思ってしまいます。「春の主演 桜」は、桜の歴史や特徴、花から実への変化など桜について詳しく描かれています。このお話の案内役をしてくれるのが、てんぐのお面をつけた子どもと柴犬です。それがまたとても可愛くて、この絵本の魅力の1つになっています。



## 今月の本棚・・・「困難に立ち向かっていく絵本」

～「ポケットのないカンガルー」「ねこのジョン」「スイミー」「ラチとらいおん」「ダンズえんちょうやっつけた」 などなど ～



こういう時期なので、うんと前向きになれる絵本を集めてみました。どの作品も胸がキューンとなって「いいなあ。」「よし、頑張ろう!」「負けないぞ!」「そうだよね。」と思える本です。心を動かされる本に出会える素晴らしさを、少しでも味わってもらえればと思います。



## ほっとフレイク

3月に、スタッフ全員で大掃除をしました。地下室や準備室・楽屋など、10年分の物・物・物が出てきました。地下室には「コミカレ」で必要なものも常時いろいろ置いてありますが、期限切れのお客さまの忘れ物も数多くあり、たった1度のイベントに使っただけのものや、カフェのカップやグラスを決める時、見本の為だけに購入した数種類のカップやグラスなども出てきました。オープン当初からいるスタッフでさえ、見覚えのないものや、何に使ったのかわからないものもありました。(^^; オープン時のイベントの際使ったものを見ていると、懐かしさと、これから始まる新しい生活への期待と不安、そして何とかお客さまの思いに応えていきたいという気合のようなものなど、当時感じた様々な思いがよみがえってきました。10年たった今、私たちは成長しているのでしょうか……。これで良しとするのではなく、より良くする為に何が必要か、改善すべきところはないか、常に考え続け実行していくことが大切で、一番私たちに求められていることだと改めて感じました。頑張るぞ!!!(^^)/